

認知症は早期診断と早期治療が大切



認知症は高齢者にとって特別な疾患ではありませんが、早期診断・早期治療が大切です。正しい知識と理解について芦屋病院「脳神経センター」の片岡先生にお話を伺いました。

芦屋病院 脳神経内科部長
片岡 政子 先生

認知症とは、脳神経細胞の働きの障害でこれまでできていたことができなくなり社会生活に支障をきたした状態をいいます。我が国では認知症患者数が急増しており、65歳以上の高齢者の7人に1人、85歳以上では3人に1人が認知症とされています。認知症は高齢者にとって決して特別な疾患ではなく、誰もがなり得るものです。

認知症をひきおこす病気でもっとも多いのがアルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型変性症といった神経変性疾患で、次に多いのが血管性認知症です。アルツハイマー型認知症などの神経変性疾患は、脳の中に異常な蛋白質がたまり、徐々に神経細胞が死んでしまうことが原因とされていますが、そ

の詳しい原因はまだわかっていません。血管性認知症は高血圧症などによる動脈硬化から脳循環不全、脳卒中(かくれ脳梗塞も含め)をきたすことで発症します。

しかしながら、認知症の原因は他にもいろいろあり、特に正常圧水頭症、硬膜下血腫、高齢者てんかん、甲状腺機能低下症など、きちんとした診断後の治療により顕著な回復が見込める治療可能なものが含まれます。ぜひとも見逃したくないものです。これらの治る認知症を見逃さないためには、医療機関を受診し、正確な診断を受けることが何よりも大切です。

認知症疾患は病気によって治療法や対策は異なりますが、どんな病気であっても早期の診断、治療が有効です。

芦屋病院では

脳神経センター(脳疾患予防外来)を新設

社会の高齢化とともに急速に増えてきた高齢者特有の脳疾患である3つの疾患にとくに力を入れています。

- ① 認知症疾患
- ② 成人てんかん(意識消失、ぼーっとする、もぞもぞするなど)
- ③ 神経変性疾患(パーキンソン病など神経難病)

疾患の診断後は、外来での治療はもちろん、ご家族へのアドバイス、必要ならハビリテーション、介護サービスなどを導入し、認知症があっても住み慣れた環境で、患者さんのより良い日常生活の維持とご家族の介護負担軽減のために、サポートいたします。

※脳疾患予防外来は完全予約制です。受診希望の方は電話で地域連携室へ。



問い合わせ 芦屋病院 地域連携室 ☎ 31-2156

認知症の早期発見とサポート

ウェブで簡単

これって認知症？ 簡易チェックサイト

インターネット上でいくつかの簡単な質問に答えるだけで、認知症の可能性をチェックできるサービスです。家族・介護者向けとご本人向けの2種類があります。

ホームページ、スマートフォンから簡単にチェックができますので、ぜひご利用ください。



認知症の情報をまとめた冊子「認知症ほっとナビ」



認知症と診断された人・共に生きるご家族・認知症に対して不安な人など、さまざまな人が利用できるサービスや制度をまとめています。市窓口や各高齢者生活支援センターで配布しています。



認知症高齢者見守りシステム



認知症高齢者が行方不明になった時に、早期に発見するためのものです。市に登録された事業者のシステムを利用する人は、助成が受けられます。

- 助成額 導入費用(限度額2,000円)
- 登録事業者
一般社団法人セーフティネットリンケージ
☎011-572-6865
- 申し込み 印鑑・導入費用の領収書を下記へ
※詳細は、ホームページをご覧ください。



認知症サポーターになりませんか



認知症サポーターとは、認知症の人や家族を見守る「応援者」のことです。

認知症を正しく理解するための認知症サポーター養成講座を受講した人へ、認知症サポーターである証として「オレンジリング」を進呈します。

- 内容 5人以上の集まり(自治会、学校、商店街、企業、サークル、ボランティア、有志など)にキャラバン・メイト(講師)が出向き、認知症の正しい理解・認知症の人の行動や心理・支援や対応する際の心配りなどの講座をします。
- 費用 無料(会場費は主催側で要負担)
- 時間 90分程度
- 申し込み&問い合わせ
社会福祉協議会 ☎32-7525